

研究機関：広島大学

研究課題名	リンパ節転移陽性肺線癌患者の転移リンパ節での遺伝子変異による分類
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
研究期間	2018年6月26日(倫理委員会承認後)～2019年12月31日
対象者	2005年1月1日から2016年12月31日までに、広島大学病院呼吸器外科で手術による原発性肺癌の治療を受け、リンパ節に転移があった患者さんを対象とします。
意義・目的	転移を有する肺癌の化学療法では、特定の遺伝子に変化がある場合にのみ有効性が期待できる薬剤があり、遺伝子の変化は肺から組織を採取して調べる事が一般的ですが、必ずしも肺から組織を採取できるとは限りません。今回、転移のあるリンパ節での遺伝子の変化でも治療方針の決定が可能かどうか調べるため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報と手術の際に摘出された病片をもちいて調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、喫煙歴の有無、患側肺(左右)、腫瘍の存在する肺葉(上葉、中葉、下葉)、術式(肺葉切除、区域切除、部分切除)、腫瘍径、組織亜型、遺伝子変異の有無、術前治療の有無、術後治療の有無・内容、リンパ節転移の場所と個数、遠隔転移の有無、胸膜浸潤の有無、リンパ管浸潤の有無、脈管浸潤の有無、切除断端の腫瘍の有無、再発のチェック日・有無、生存・死亡の状態です。手術で摘出された病片からは肺癌にみられやすい特殊な遺伝子の型があるかどうかを調べます。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5866 広島大学病院呼吸器外科 呼吸器外科 宮田 義浩